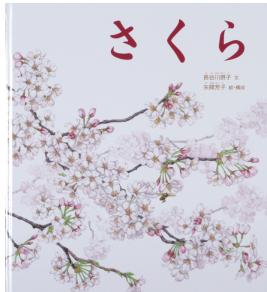


植物



さくら (かがくのとも絵本)

長谷川摂子／文
矢間芳子／絵・構成

福音館書店 2010年 900円

1本のソメイヨシノとそこに集まる鳥や虫たちの一年を描きました。リズミカルな文と繊細でやわらかいタッチの絵が、さくらをますます魅力的にしています。



たんぽぽ (かがくのとも傑作集)

平山和子／文・絵
北村四郎／監修

福音館書店 1976年 900円

どこにでも咲いているタンポポですが、私たちは、その生態についてはあまり知りません。実物大のタンポポの根は80cm! 4ページにわたって描かれています。



雑草のくらし あき地の五年間

甲斐信枝／作
福音館書店 1985年 2300円

比叡山の麓の畠跡地を5年間に渡って観察し、雑草の暮らしをダイナミックに描きました。そこでは草どうしの勢力争いが、四季折々、年を追うごとに繰り広げられます。作者は、植物や生き物についての優れた絵本を数多く手がけています。

(参考図書)

『つくり』 (かがくのとも傑作集)

甲斐信枝／作
福音館書店 1997年 900円
『たねがとぶ』 (かがくのとも傑作集)
甲斐信枝／作
福音館書店 1993年 900円



たねのすかん とぶ・はじける・くっつく (みるすかん・かんじるすかん)

高森登志夫／絵

古矢一穂／文

福音館書店 1990年 1300円

植物が子孫を残すために取る方法は？ 風に運ばれるタネ、人や動物にくつ付いて運ばれるタネ、さやの中から飛び出すタネ、水に流されて運ばれるタネ、鳥が運ぶタネ…。122種のタネとその植物の絵が丁寧に描かれています。



畑の土から芽がでたよ (土にねむるたねのふしき 1)

松尾洋子／写真

多田多恵子／監修

アリス館 2010年 2000円 ★シリーズ全2巻

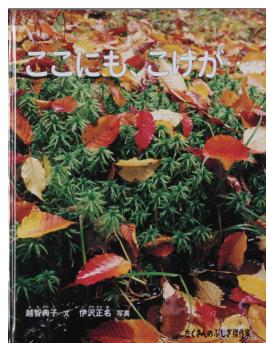
農家のの人からもらった畠の土をプランターに入れて観察。さてさて、どんな芽が出てくるでしょうか。出てきた芽に「にっこりおさる」「みどりのバナナ」「くつした」などユニークな名前を付け、生長の様子を観察した写真図鑑です。

(参考図書)

『林の土から芽がでたよ』(土にねむるたねのふしき 2)

松尾洋子／写真 多田多恵子／監修

アリス館 2010年 2000円



ここにも、こけが… (たくさんふしき傑作集)

越智典子／文

伊沢正名／写真

福音館書店 2010年 1300円

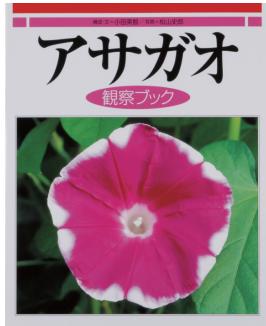
こけの世界にズームアップで迫り、見過ごしていたこけの美しさに気付かせてくれます。およそ4億2千万年前の地球に、こけの祖先はあらわれました。それから現在までの長い間に、からだの大きさもつくりもそれほど変わっていません。たくさんの謎を秘めたこけの、不思議な生態がわかる写真絵本です。

(参考図書)

『ほら、きのこけが…』(たくさんふしき傑作集)

越智典子／文 伊沢正名／写真

福音館書店 2000年 1300円



アサガオ観察ブック

小田英智／構成・文

松山史郎／写真

偕成社 2009年 1200円

アサガオの発芽から種になるまでの生長過程を写真で記録し、詳細に説明しています。アサガオは奈良時代に中国から薬として渡来し、薄青色一色の花でした。時代が下がって園芸植物として愛好者が増え、多くの品種が生まれた歴史も伝えています。

※『アサガオ観察事典』(2003年刊の普及版)
(参考図書)

『チューリップ観察事典』(自然の観察事典 27)

小田英智／構成・文 松山史郎／写真

偕成社 2003年 2400円

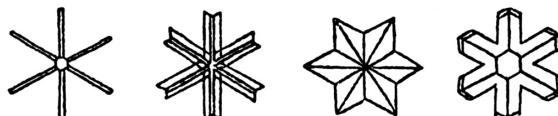


イネの一生 (科学のアルバム)

守矢登／著

あかね書房 2005年 新装版 1500円

イネの一生を豊富な写真と解説でたどる、「科学のアルバム」シリーズの一冊。田のある風景には、必ず人々の暮らしがあります。稲作の伝播や稲作と自然との関係などにもふれて、稲作を多面的にとらえています。



『訓蒙窮理図解』 第六章「雹雪露霜氷の事」より



シリーズ「科学のアルバム」

(植物編、動物・鳥編、天文・地学編、虫編、既刊73冊) の紹介

1970年、地球上の様々な生物や地球や宇宙の姿をカメラの眼で捉え、解説を加えた写真図鑑のシリーズとして創刊されました。1988年、100巻で完結。2005年、リニューアルして全73巻の新装版として再刊行しています。

植物編 全18巻

- 『アサガオ たねからたねまで』
- 『ヒマワリのかんさつ』
- 『高山植物の一年』
- 『ヘチマのかんさつ』
- 『キノコの世界』
- 『コケの世界』
- 『紅葉のふしぎ』
- 『ドングリ』
- 『植物は動いている』
- 『食虫植物のひみつ』
- 『イネの一生』
- 『サクラの一年』
- 『サボテンのふしぎ』
- 『たねのゆくえ』
- 『ジャガイモ』
- 『水草のひみつ』
- 『ムギの一生』
- 『花の色のふしぎ』

動物・鳥編 全20巻

- 『カエルのたんじょう』
- 『ツバメのくらし』
- 『たまごのひみつ』
- 『モリアオガエル』
- 『シカのくらし』
- 『ヘビとトカゲ』
- 『森のキタキツネ』
- 『コウモリ』
- 『カメのくらし』
- 『ヤマネのくらし』
- 『カニのくらし』
- 『サンゴ礁の世界』
- 『カタツムリ』
- 『フクロウ』
- 『カラスのくらし』
- 『キツツキの森』
- 『サケのたんじょう』
- 『ハヤブサの四季』
- 『メダカのくらし』
- 『ヤドカリ』

天文・地学編 全16巻

- 『月をみよう』
- 『星の一生』
- 『太陽のふしぎ』
- 『惑星をみよう』
- 『雪の一生』
- 『水 めぐる水のひみつ』
- 『氷の世界』
- 『砂漠の世界』
- 『雲と天気』
- 『きょうりゅう』
- 『星座をさがそう』
- 『しょうにゅうどう探検』
- 『火山は生きている』
- 『塩 海からきた宝石』
- 『鉱物 地底からのたより』
- 『流れ星・隕石』

虫編 全19巻

- 『モンシロチョウ』
- 『カブトムシ』
- 『セミの一生』
- 『ミツバチのふしぎ』
- 『クモのひみつ』
- 『鳴く虫の世界』
- 『テントウムシ』
- 『ホタル 光のひみつ』
- 『昆虫のふしぎ 色と形のひみつ』
- 『水生昆虫のひみつ』
- 『アリの世界』
- 『アカントボの一生』
- 『アゲハチョウ』
- 『トノサマバッタ』
- 『カマキリのかんさつ』
- 『カイコ まゆからまゆまで』
- 『クワガタムシ』
- 『高山チョウのくらし』
- 『ギフチョウ』



どんぐりの穴のひみつ (わたしの研究 11)

高柳芳恵／文
つだかつみ／絵

偕成社 2006年 1200円

どんぐりの小さい穴からイモ虫が顔を出したのをきっかけに、どんぐり穴の犯人探しがはじまります。どんぐり虫の成虫の名前探しで難航。穴の大きさや開けている場所も様々だったり、穴の数と出てきたイモ虫の数が合わなかつたり…。9年間のどんぐり穴の観察記録をまとめました。

(参考図書)
『日本どんぐり大図鑑』
徳永桂子／著 北岡明彦／監修・解説
偕成社 2004年 4800円

ブナの森は緑のダム 森林の研究

太田威／文・写真

あかね書房 1988年 1200円

※現在品切れ

著者はブナの森の四季やそこに息づく様々な生き物を撮り続け、森を多面的に研究しています。人は古代より森と共生して生きてきました。豊かな森を知ることで、近年の森と人との関わり方に警鐘を鳴らしています。



ジャガイモの花と実 (オリジナル入門シリーズ 5)

板倉聖宣／著
藤森知子／絵
仮説社 2009年 1600円

植物は花が咲くと、そのほとんどは実がなり種ができます。ジャガイモの花を見たことはあっても、実を見ることはなかなかありません。「ジャガイモの花と実という、ふだんは全く問題にもされないものを一つの手がかりにして、自然のしくみの面白さと、それを上手に利用してきた人間の知恵—科学のすばらしさとを描きだそうとした」著者の熱い思いが伝わる科学読物の傑作です。